科目名: 打楽器を用いた即興表現

氏名　　八木　美砂子

【講義のねらい】
様々な打楽器に触れ、実際に音を出しながら、自分の音や相手の音がどのように響くのかを体験する。気持ちを表出すること・音で対話をすること・音を描くこと・リズムで繋がることなど、様々な打楽器での即興表現を通して、音楽療法において打楽器がどのような役割を果たすのかを考える。

【講義概要】

様々な打楽器に触れ、人と人の間で生まれる音を、即興表現を通して体験する。

・自分の音を聴く
・音を描く
・相手の音を聴き、受け取る
・音で繋がる
・対象者の音が生きるよう支える

【教科書(テキスト)】
なし

【参考文献】
『音楽ってどうやるの』野村誠・片岡祐介著　あおぞら音楽社
『即興演奏ってどうやるの』野村誠・片岡祐介著　あおぞら音楽社
『総合保育・教育現場に応用する　音楽療法・音あそび』下川英子
『発達支援のミュージッキング』吉田豊　一粒書房